

2016年度 鋼構造塑性設計小委員会 第3回 議事録

日 時：2016年12月19日（月） 13:00～17:00

場 所：建築会館 301 会議室

出席者：五十嵐規矩夫（主査）、高松隆夫、玉井宏章、金尾伊織、岡崎太一郎、佐藤篤司、向出静司、
岩間和博、石原清孝、聲高裕治（記録） [下線部＝欠席]

資 料

No. 03-01 2016年度鋼構造塑性設計小委員会第2回議事録（案）

No. 03-02 序（玉井）

No. 03-03 再校1章～3章 付1, 2（玉井）

No. 03-04 再校4章（五十嵐）

No. 03-05 再校5章（金尾）

No. 03-06 再校6章（佐藤）

No. 03-07 -

No. 03-08 再校8章 付3（聲高）

No. 03-09 再校9章（石原）

No. 03-10 再校10章（聲高・向出）

No. 03-11 再校11章（岩間）

No. 03-12 「鋼構造塑性設計指針」用語・語句の統一

No. 03-13 索引1章～3章 付1, 2（玉井）

No. 03-14 索引4章（五十嵐）

No. 03-15 索引5章（金尾）

No. 03-16 索引6章（佐藤）

No. 03-17 索引7章（岡崎）

No. 03-18 索引8章, 10章前半（聲高）

No. 03-19 索引9章（石原）

No. 03-20 講習会の講義にあたってのお願い

No. 03-21 講習会 PPT 構成1章～3章（玉井）

No. 03-22 講習会 PPT 構成4章（五十嵐）

No. 03-23 講習会 PPT 構成5章（金尾）

No. 03-24 講習会 PPT 構成6章（佐藤）

No. 03-25 講習会 PPT 構成9章（石原）

No. 03-26 鋼構造塑性設計指針 第4版の内容（玉井）

審議議題

1. 2016年度第2回議事録の確認

- 資料 No.03-01 に基づき前回議事録が読み上げられ、了承された。

2. 再校に対する確認

- 資料 No. 03-03～03-11 に基づき、再校の校正結果について確認した。
 - 寸法線の両端には、矢や●を設けない。
 - 指針本文（囲み）で式の適用範囲を表す場合には「～のとき 式（式番号）」と表記する。解説では、可能であれば本文と統一し、難しい場合には任意とする。
 - 回転角を変形角に統一する。
- 資料 No.03-12 に基づき、本指針での用語・語句の表記について議論した。
 - 原則、接続詞や副詞はかな表記とし、動詞は難易度が高いものと除き漢字表記とする。
 - 小委員会で議論した用語・語句を幹事がとりまとめ、メールで回覧した上で、事務局へ提出する。
- 資料 No.03-13～03-19 に基づき、索引に掲載する用語について議論した。
 - 委員より選出された用語と代表的なページ番号を幹事がとりまとめ、メールで回覧する。
 - 修正された索引を 12 月 21 日に事務局へ提出する。

3. 講習会の実施に向けて

- 資料 No.03-20 に基づいて、講習会の講義と資料の体裁について確認した。
 - 講義用スライドについては、次回小委員会で確認する。
 - 講義補助資料の締切は、2 月 13 日午前中とする。
 - スライド右下に「章番号-スライド番号」を追記する。
 - スライドのフォーマットを幹事から委員に送付する。
- 資料 No.03-21～03-25 に基づいて、PPT の構成とスライド枚数について確認した。
 - 講義補助資料は 1 ページあたり 6 スライドとする。
 - 講義補助資料のページ数の目安は以下のとおりとする。

章	1～3	4～6	7～8	10	9・11
ページ数	5	6	4	4	6
スライド数	30	36	24	24	36

- 講義用スライドは、上記の 2 倍程度のスライド数を目安とする。

4. 4 版の内容

- 資料 No.03-26 に基づいて、4 版の内容について確認した。

5. 今後の予定

- 校正結果の提出
 - 1 2 月 2 1 日（水）午前中までに、執筆担当者がストレージサーバにアップする。
 - 三校については 1 月中旬に依頼があり、1 週間程度で回答することになる見込み。
- 次回小委員会
 - 2 月 1 1 日（土）13:00～ 建築会館で実施する。
 - 講義用スライドを確認する。

以上